

## これだけは覚えよう！重要ポイント

変化の割合

$$\frac{y \text{の増加量}}{x \text{の増加量}}$$

1次関数では

$$\text{変化の割合} = a \text{ (一定)}$$

計算

$$\frac{y_2 - y_1}{x_2 - x_1} = a$$

Q. 変化の割合とは？ xが増えたときのyの増え方。1次関数では常に傾きaに等しい。

## ① 変化の割合の定義

公式

yの増加量をxの増加量で割った値。

$$\text{変化の割合} = \frac{\Delta y}{\Delta x}$$

## ② 1次関数の特徴

重要

1次関数では変化の割合が常に一定で、傾きaに等しい。

$$y = 2x + 3 \Rightarrow \text{変化の割合} = 2$$

## ③ 計算例

例

xが2から5に増えたとき、yが7から13に増えた場合。

$$\frac{13 - 7}{5 - 2} = \frac{6}{3} = 2$$

## ④ 比例との比較

比較

比例も変化の割合は一定 (=比例定数)。1次関数と同じ性質。

$$y = ax \Rightarrow \text{変化の割合} = a$$

## 💡 ミス回避のコツ

## ⚠️ 引く順番を間違える

✖

$$\frac{y_1 - y_2}{x_2 - x_1}$$

○

$$\frac{y_2 - y_1}{x_2 - x_1} \text{ (順番を揃える)}$$

分子と分母で引く順番を揃える。

## ⚠️ 増加量と値を混同

✖

$$\text{変化の割合} = y_2$$

○

$$\text{変化の割合} = \frac{y_2 - y_1}{x_2 - x_1}$$

変化の割合は「増加量の比」であり、値そのものではない。

## 最終確認チェックリスト

- 変化の割合の公式を覚えたか？
- 1次関数では変化の割合が一定だと理解したか？
- 変化の割合 = 傾きだと理解したか？